

事になつた。
完成された磐城商工会議所
設立申請書は福島商工会議所、
所、磐城市長、大竹知事の
設立意見書、平商工会議所
の磐城市一圓の地域分轄委
認書の他、定款、会員役員名簿、
業計画書などで関係書類を
主張を行きづまつ、
非合理的な寄附

いでは、新法公布の趣旨で
磐城市共同金は二十六日現在目樽額五八萬二千圓に対し、戸別募金一九萬九二九
比 佐 凡 風
た寄附政治
を是正せよ。

は完遂か
二二六日で六四%
三圓、街頭募金四萬五〇
一圓、大口募金一〇萬八〇
〇〇圓、其行募金二萬圓
定され、市はこれを寄附
よつてまかなうと所謂る寄
附募集委員会とも云うべき
、庁舎建設促進委員会な
ものを組織してこれに當
ようです。
その他の市公共事業の殆どに
受益者負担と稱する寄附金
爲が總額の半額、或いは二
分ノ十を要請されているの
が現市政の特長とも云う可
しよう。
来る三〇日に開かれる市議
会協議会はこの寄附行爲を
必要不可欠とする政治に確
実が来た、極点に達しよ

野記念会館で同日ヨリ六時半から勿来町勿来第一小学校講堂、翌三十一日午後一時半からと六時半からの二〇は磐城市小名濱第一小学校講堂に夫々盛大に開催される事になった。

期待される「

メリーテーラー

御座居ます
近に拘らず出前致します
イ 始めました
永
磐城市小名濱上町
電四八三
毛糸新入荷
群羊毛糸 1封度 1200圓
カネボウ 1封度 1600圓
化粧品柳屋 メスマジュジュウ。ウテナ 80圓
フトンの手入丈夫な夜具地
ハンドバックナイロン靴下
婦人バンド紳士バンド各種
サンダルパンプス半バス
極上白一貫目
赤白一級一貫目
皆様の店
平マーケット
小名濱第二小学校前電七二九

書類元備して通産省へ
磐城商工會議所に明るい見通し
議所の設立は市商工類三四四頁から成るボ一大
必須の要件として磐なものが四部が作製されて
名浜商工会が中心にいる。
かねてから設立運動同申請書によると磐城商工
して來たが、新商工會議は会員五一一名会費二
法公布に伴い、再度一三五口（一口月三〇圓）
て通産省へ申請書類で文支予算は廿七千五百
ある既存會議所のうところから県内
的見方をされて現在九會議所の中
會議所の許可後と
會議所の許可後と

（）
%に達
募金だ
見通し
行われ
金の達
いたが、
原町商議
講を終つ
は書類を
遠いなく
も早けれ
年度内に
と見られ
期待され
日午後

卷之三

發行所
磐城日日新聞社
福島縣磐城市渚廻51
電話 387番
編集兼 比佐不二夫
發行人

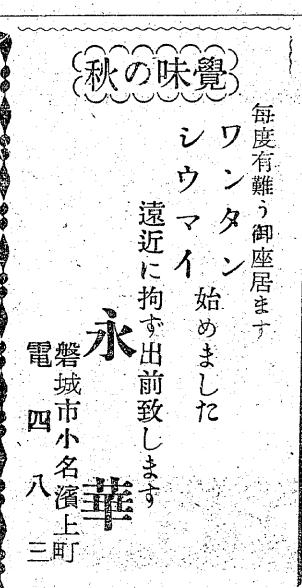
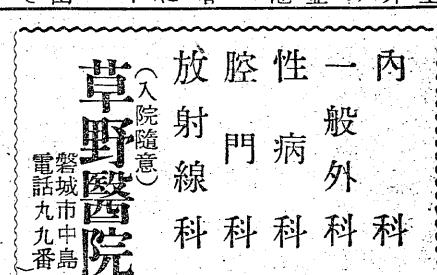
セーター入荷
はちや
チゲット歡迎 電 919

水稻作況の 査定協議會

ヤルの越山あつ子、希望の星座の瀬沼欣一、荒井政子とNHK人気番組の

內
一
般
外
科

大理石 テラゾーは



押寄せるさんまブーム

二十万貫の水揚げで戦場化

二十五日夕刻から二六日午前十時頃までにかけて小名浜に何と二十萬貫のサンマが水揚され、六百四十坪のさしもの小名浜魚市場約千二百坪の水揚場はさながら戦場を思はせる活気を以てし、足の踏み場も無い有様だつた。

この大漁は二十日頃まで金華山沖合に群としていたサンマが、二五日正午頃からイルカに追はれて南下をし始め、小名浜沖南東十八哩

十九マイルの近海に姿を見えたもので、平磯港所属船の第八必勝丸の二万六千貫を

筆頭に、地元船瑞宝丸(四

五トン)、船主磐城市榮町

四馬上庄治氏)、松丸(二

九トン)、磐主同市下町八

馬上正美氏)等の二十八隻

の廻船地船によつてこの水

揚がされたもの。

漁値も落ちを見せて貰當九

十圓から八十圓、下積物で

六十五圓止と云つたところ

六十五圓止と